

第4学年社会科学学習指導案

対象 4年1組 31名
 授業者 松江 大雄
 対象 4年2組 30名
 授業者 丹羽 隆一郎
 対象 4年3組 31名
 授業者 三島 桃子
 対象 4年4組 30名
 授業者 八 鍬 恵子

- 1 単元名 「東京都の特色ある地域の様子（豊かな自然を守り生かす小笠原村）」
 教材名 「小笠原村の魅力を伝えよう 八小広報部！」

2 単元の目標

豊かな自然環境を生かしている小笠原村の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地図帳や各種の資料を調べて、まとめることを通して小笠原村では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解できるようにするとともに、学習問題を主体的に追究・解決しようとする態度を育てる。

3 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①小笠原村の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などについて、地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、理解している。	①小笠原村の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、問いを見出し、小笠原村の様子について考え、表現している。	①小笠原村の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
②調べたことをまとめ、小笠原村では、人々が協力し、特色あるまちづくりや、観光などの産業の発展に努めていることを理解している。	②小笠原村の人々の活動や産業と小笠原村の発展を関連付けたり、自分たちの住んでいる地域と比較したりして、小笠原村の位置や自然環境、特色を考え、適切に表現している。	

4 研究主題に迫る工夫や手だて

(1) 主体的に学び続ける児童の育成のために【見通すことについて】

① 児童と作る学習計画

学習課題に迫るために、児童の興味が湧くような小笠原村に関する資料を提示する。小笠原村について気付いたことや調べてみたいことを児童同士で話し合い、共有しながら学習計画を立てるようにする。

② 見通しの視覚化

- ・単元を通しての学習計画を教室内に掲示し、単元のゴールを常に意識し、計画的に学習を進められるようにする。
- ・1時間単位の授業の流れを示し、児童が学習の流れを理解できるようにする。
- ・マイプランを作成し、自ら単元の中で調べたいことを計画することで見通しをもちながら、学習を進めていけるようにする。

③ 教科の特性、発達段階に合わせた工夫

- ・単元はじめでは、小笠原村に関わる資料（写真・動画）を提示する。資料を読み取ることでも予想したり、調べることをイメージさせたりする。また、統計的資料を提示して読み取れるようにする。統計的資料から変化に気づき、その変化をさらに調べていけるようにする。
- ・1時間ごとに学びを深められるような精選した資料を、授業のはじめに提示する。児童が資料を見て、マイプランに即したテーマをさらに詳しく調べ、学びを深めていけるようにする。

(2) 主体的に学び続ける児童の育成のために【振り返ることについて】

① 振り返りの観点を踏まえた話型や項目の提示

1. 学習内容の確認	分かったこと（知識・技能）【概念・操作・習熟】
2. 学習内容を現在や過去の学習内容と関係付けたり一般化したりする	もっと知りたいこと（思考・判断・表現等の力）【活用】 今日の学びのつながり（主体的に学習に取り組む態度）【関連付け】
3. 学習内容を自らとつなげ自己変容の自覚する	できるようになったこと（主体的に学習に取り組む態度）【自己変容】 学び方・方法（主体的に学習に取り組む態度）【学び方の自覚】

毎時間、学習の最後に振り返りを行う。次回の学習に向けて取り組みたいことや今回の学習を通してできるようになったこと等を記録する。その際に、「友達の考えのどんなところがよかった。」「友達の考えを聞いて調べたいと思ったこと。」「今回の学習から初めて知ったこと。」など明確な視点を与えることで、児童の振り返りの充実化を図れるようにする。

② 振り返りのしかたとタイミング

単元のはじめにマイプランを作成し、毎時間振り返りを行う中で、マイプランに立ち返り、調整や修正をしながら学習を進めていく。また、学習の中で気付いたことや疑問に思ったこと、分かったことをワークシートにメモをして、単元を通して振り返りながら学習を自ら進められるようにする。

(3) 主体的に学び続ける児童の育成のために【共通することについて】

① e ポートフォリオの活用

- ・動画や写真、グラフ等の資料をスライドや Google クラウドに貼り付け、児童に配布することで、学習を通して使用した資料を振り返れるようにする。
- ・紙面のリーフレットとタブレット端末のリーフレットの自分に適したものを選択し作成できるようにする。紙面のリーフレットを作成する場合は、その時間に調べたことを紙面に書き込みながらまとめ、完成後写真に保存することで年間を通して振り返りができるようにする。タブレット端末でリーフレットを作成する場合は、その時間に調べたことや分かったことをタブレットに打ち込みながらまとめていく。毎時間追記していくことで、前時までに調べたことや、疑問に思ったことなどを確認しやすくし、学習を見通せるようにする。

5 単元の指導計画と評価計画（全10時間）

次	時	・主な学習活動	○指導上の留意点	◇評価規準
1	1	・小笠原村の環境PRを見る。 ・小笠原村の位置を調べる。 ・小笠原村の交通手段、気候、観光客数を調べる。	○資料を提示する。	◇資料を見て、小笠原村の情報を知ることができる。 【知・技】ア-① ◇資料から問題を見出し、小笠原村の様子を表現することができる。
		小笠原村の人々は、自然を生かして、どのようなまちづくりをしているのだろう。 ①		
	2 (2組)	・学習問題に対する予想を話し合い、学習計画を立てる。	○資料を提示する。 ○ICTを活用する。	◇小笠原村の様子について学習計画を立てようとしている。 【主】ウ-①
2	3・4・5・6・7 (3・4組)	・海・陸や動植物、産業などの自然を生かした取り組みや小笠原村の特徴ある町について調べる。 ・自然を保護する取り組みを調べる。 ・固有種を守る理由を考える。 ・自然保護活動を広げる取り組みを調べ、その理由を考える。	○資料を提示する。 ○『活用以外にも保護していること』『自然を守りつつ、観光客も楽しめる工夫をしていること』『小笠原村の人々や観光客がこれからも自然と共生していくこと』もおさえるような言葉掛けをする。	◇資料を見て、小笠原村の情報を知ることができる。 【知・技】ア-① ◇小笠原村の人々の活動や産業、村の発展を関連付け、特色を表現することができる。 【思・判・表】イ-② ◇調べたことをまとめ、産業の発展に努めていることを理解することができる。 【知・技】ア-②
3	8・9 (1組)	・調べたことと、学習問題に対する自分の考えをまとめる。 ・リーフレットをまとめる。	○自然環境と人々の活動、まちづくりが関連していることをおさえるような言葉掛けをする。 ○リーフレットの内容など個別に指導していく。	◇学習問題を追及し、解決しようとしている。 【主】ウ-① ◇小笠原村の人々の活動や産業、村の発展を関連付け特色を表現することができる。 【思・判・表】イ-②
	10	・リーフレットの発表会をする。	○大型テレビを活用し、全体にリーフレットを共有できるようにする。	◇調べたことをまとめ、産業の発展に努めていることを理解することができる。 【知・技】ア-②

6 本時の指導①（2／10時間 4年2組）

（1）本時の目標

小笠原村の様子について、調べたいこと予想したいことなどを友達同士で話し合いながら学習計画を立てる。

（2）本時の展開

時間	学習活動	○指導上の留意点、配慮事項 ◇評価
導入 5分	1. 前時の確認をする。 2. 資料を提示する。 ・自然を守る取り組みってどのようなものがあるのだろう。	○前時の学習の流れを確認するために、これまでの学習の道のりを掲示する。 ○児童が学習計画を立てやすいように疑問や興味を引くような資料を提示する。 ○学習計画を確認できるようにするため、教室掲示をする。
	学習計画を立てよう。	
展開 30分	3. 班で話し合い、調べたいことを共有しながら学習計画を立てる。 ・どれくらい固有種がいるのだろう。 ・小笠原村のくらしってどんな感じだろう。 4. 全体共有する。	○小笠原村について前時までの資料を基にしながら、調べてみたいことを考えられるようにする。 ○班で話し合いながら調べたいことを書き残すことができるように、フィグジャムを準備する。 ○資料を参考にどのようなことを調べていけばよいのか言葉掛けをしながら机間指導を行う。 ○児童が思考できるような疑問形の言葉掛けをする。 ○全体共有できるようにフィグジャムを大型テレビに投影する。 ○調べてみたいことを分かりやすくするために、フィグジャム内で印をつける。
終末 10分	5. マイプランを立てる。 ・海を生かした取り組みを中心に調べよう。	○友達の考えを参考にしてもよいという言葉掛けをする。 ○個人の学習計画を立てられるようにワークシート（マイプラン）を準備する。 ◇小笠原村の様子について学習計画を立てようとしている。 【主】ウ-①（観察、ワークシート）

6 本時の指導②（4／10時間 4年3組）

（1）本時の目標

小笠原村の自然環境や産業、歴史的背景、人々の協力などについて資料から調べ、小笠原村の発展に関連付けながら調べることができる。

（2）本時の展開

時間	学習活動	○指導上の留意点、配慮事項 ◇評価
導入 5分	1. 本時の学習の流れとめあてを確認する。 ・今日はグリーンアノールについて調べようかな。	○全体の学習計画を確認できるようにするため、教室掲示をする。 ○調べる内容がはっきり決まっていない児童のために、資料をいくつか提示し、調べる視点を分かりやすくする。
	小笠原村の『ここがすごい!』を見つけよう。	
展開 30分	2. 本やタブレット端末で調べる。 ・外来種ってたくさん駆除されているよ。 3. 調べたことをグループ共有する。 ・固有種ってどれくらいの種類がいるのかな。 ・自然を守る取り組みって他になにがあるのかな。	○小笠原村についての本を準備する。 ○疑問点や分かったことなどをメモできるワークシートを配布する。 ○活動が進まない児童に個別指導し、調べやすい資料を準備して見せたり、調べ方を助言したりする。 ○同じテーマをもったグループ編成にしておくことで、調べた内容を共有しやすくする。 ○話し合いの視点を与えることで、班での対話活動が充実できるようにする。 ◇資料を見て、小笠原村の情報を知ることができる。 【知・技】ア-①（ノート・発言）
終末 10分	4. リーフレット作りをする。 5. 振り返りをする。 ・次回は陸の自然について調べてみよう。	○タブレット端末や紙面のリーフレットに、調べたことの中から大事なことを選んで入れさせるようにする。 ○振り返りの視点を与え、振り返りしやすいようにする。 ○マイプランを活用し、学習計画を調整・修正できるようにする。 ◇小笠原村の様子について学習計画を立てようとしている。 【主】ウ-①（ノート・発言）

6 本時の指導③（6／10時間 4年4組）

（1）本時の目標

小笠原村の自然環境や産業、歴史的背景、人々の協力などについて資料から調べ、小笠原村の発展に関連付けながら調べることができる。

（2）本時の展開

時間	学習活動	○指導上の留意点、配慮事項 ◇評価
導入 5分	1. 本時の学習の流れとめあてを確認する。 ・小笠原村の海にはどれくらいの種類の生き物がいるのだろう。	○全体の学習計画を確認できるようにするため、教室掲示をする。 ○調べる内容が深まるように資料をいくつか提示し、調べる視点を分かりやすくする。
	小笠原村の『ここがすごい！』を見つけよう。	
展開 30分	2. 本やタブレット端末で調べる。 ・小笠原村ではどのような生活をしているのだろう。 3. 調べたことをグループ共有する。 ・スキューバダイビングやホエールウォッチングをして、観光客を増やしている。 ・他にどのような取り組みをして観光客を増やしているのだろう。	○小笠原村についての本を準備する。 ○疑問点や分かったことなどをメモできるワークシートを配布する。 ○活動が進まない児童に個別指導し、調べ方を助言する。 ○学習問題を意識させ、調べる内容が深まるような言葉掛けをする。 ○同じテーマをもったグループ編成にしておくことで、調べた内容を共有しやすくする。 ○話し合いの視点を与えることで、班での対話活動が充実できるようにする。 ◇資料を見て、小笠原村の情報を知ることができる。 【知・技】ア-①（ノート・発言）
終末 10分	4. リーフレット作りをする。 5. 振り返りをする。 ・今日は海の自然を生かした取り組みについて理解することができた。	○タブレット端末や紙面のリーフレットに全体の構成のことも意識しながら調べたことを入れさせるようにする。 ○振り返りの視点を与え、振り返りしやすいようにする。 ○マイプランを活用し、学習計画を調整・修正できるようにする。 ◇小笠原村の様子について学習計画を立てようとしている。 【主】ウ-①（ノート・発言）

6 本時の指導④（8／10時間 4年1組）

（1）本時の目標

小笠原村について学んだことを活用し、さらに調べたいことなどを自ら選んで表現し、学習問題に対する答えをまとめることができる。

（2）本時の展開

時間	学習活動	○指導上の留意点、配慮事項◇評価
導入 10分	1. 前時までの確認をする。 ・小笠原村のすごいところをたくさん見つけられたな。	○前時の学習の流れを確認するために、これまでの学習の道のりを掲示する。 ○学習計画を確認できるようにするため、教室掲示をする。 ○異なるテーマをもったグループ編成にすることで、対話の充実を図れるようにする。
	小笠原村の人々は、どのようにして自然を守り、どのようにしてくらしているのだろう。	
展開 20分	2. 学習問題についてのまとめをする。 3. グループで学習問題のまとめを共有する。 ・海の生き物を捕獲する以外にスキューバダイビングなどに取り組んで、海を生かした生活をしている。 ・小笠原村の自然を守るために、外来種の駆除やルールを取り決めている。 4. 全体共有をする。 5. リーフレットにまとめを記入する。	○リーフレットを参考に学習課題に対する考えを書けるように机間指導する。 ○学習課題に対するまとめを書けるように机間指導をする。 ○異なるテーマをもつ児童同士で共有することで、学習課題のまとめについて話し、内容を深めていけるようにする。 ○学習課題に迫れるように、各テーマに沿って調べた小笠原村についての魅力を上げていき、まとめていけるように言葉かけをする。 ○全体共有をして、自らのまとめにさらに反映させたい言葉などがあれば、追記してもよいなどの言葉掛けをする。 ◇小笠原村の人々の活動や産業、村の発展を関連付け、特色を表現することができる。 【思・判・表】イ-②（観察・タブレット端末）
終末 15分	6. 振り返りをする。 ・生き物や自然を守るために小笠原村の人々は様々な取り組みをしていることがわかった。 7. リーフレット作りをする。	○次時に向けて本時までの学習の学んだことを振り返りができるようにするために、自分の考えを踏まえた振り返りをするように言葉掛けをする。 ○学習計画を調整・修正できるようにマイプランを活用する。 ◇学習問題を追及し、解決しようとしている。 【主】ウ-①（ノート・発言）